

1 単元名 ともだちとあそんで

2 単元について

低学年の体育の学びは遊びの中でなされる。4月より、毎朝、サークル対話を行って、子どもたちが生活の中で経験したことや感じたことなどについて、聴きあうことを大切にしてきたが、合わせて、そこで話題になったことを実際に体験したり学習につないだりして、互いの違いから自分の世界を広げることに取り組んできた。その中で話題となったことを即興で動いて楽しんだり、子どもたちが学校外や休み時間などで遊んで楽しかったことがあれば、それをみんなで共有したりして、運動遊びを子どもの生活の日常を結びつけるような活動を大切にしてきた。こうした他者とかかわりが、自分の世界を広げる契機として機能していると考え。

また、体育における探求として、「身体を通して考える」という姿がある。実際に体を動かして、身をもって感じ、感じたことからその運動のおもしろさに引き込まれたり、違和感をもつことで再度確かめなくなったりするような姿である。このような探求には、「感じる」ことがどうあるかが重要であり、驚きや自分の想像とのズレなど、自明とすることが揺り動かされたときにそうした探求が始まるのではないかと考える。このような探求は、異質な他者やモノとの出会いによって引き起こされることもあり、友達が自分と違うことをしているのを見て真似している姿、モノに誘われて心動かされて運動を始める姿などにも埋め込まれているように思う。

本単元では、このような探求を遊びの中に見出そうと考えて設定した。教師から運動内容や活動を提示するのではなく、環境設定として、友達と遊ぶということ、モノを使って遊ぶということを伝え、子どもたちがそれらとかかわり合う中で自分たちで遊びを創り出す活動を大切にしたい。子どもたちが友達とともに、遊びの広場でモノを使って遊びだす姿から子どもたちの感じていることを教師はみとり、夢中になって遊ぶ、遊びをもっとおもしろくするといった探求の姿がみられるようにかかわることができたらと考えている。

3 学習活動計画 (1時間目/全6時間)

1 ←————→ 6	
○様々なアクティビティーをやってみて、感じたことを共有する。これからやっていきたい方向性について話し合う。	○それぞれが自分のやってみたいことに取り組む。 ○思いついた遊びを紹介し、友達とやってみる。 ○自分たちの考えた遊びや、やってみた感じ、自分が遊ぶためにほしい情報などを共有する。

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

友達とかかわり合いながら、様々な運動遊びに取り組み、一人ひとりが感じたことを共有し、今後の見通しをもつ。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 教師が紹介したモノを使って自分たちで遊びをつくってまずやってみる。 2 友達と自分の感じたことや互いの感じたことの違いを共有しながら遊ぶ。 3 今日の遊びを振り返り、今後やってみたいことについて話し合う。	・モノは追加してもよいが、教師が用意したものは必ず使用することを伝え、遊びを作って遊ぶこととする。 ・話題となった感情について、共通理解できるところとそうでないところを探るようにする。

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

- ・環境設定の中で、子どもたちの遊びとしての探求の姿はどのように表れていたか。
- ・子どもの遊びにかかわる教師の役割として、どのようなかかわりが探求を促すことになるか。